



概要版の発行にあたって

奥尻町長 新村 卓 実

平成5年7月12日午後10時17分、突然奥尻島を襲った「北海道南西沖地震」により我が奥尻町は壊滅的ともいえる甚大な被害を受けました。

平和で穏やかな日常生活を送っていた私たちは、マグニチュード7.8という日本海側における観測史上最大級のかつてない地震に遭遇し、本書に示すとおり、人的被害だけで死者172名、行方不明者26名、重軽傷者143名にもおよび、被害総額は約664億円にも達する大惨事となりました。

人口わずか4,000人半ばのこの島にあり、町の年間予算規模が約50億円というひ弱な財政基盤からして、この震災に対しての復旧、復興対策が、いかに私たちにとって甚大かつ重要であるかを、自然がもたらした震災の猛威と恐ろしさから痛感させられました。

震災直後から次々と救援に駆けつけてくださった各救助機関、ならびに企業、民間団体の皆様、我が身の労力を惜しまず懸命のサポートを続けてくださったボランティアの皆様、そして、全国各地から寄せられた膨大な量の救援物資と多額の義援金のおかげをもちまして、あの悪夢のような大震災からようやく立ち直ることができ、奥尻町は平成10年3月定例議会において完全復興を宣言しました。

今私たちが、こうして被災前の「夢の島」ともいわれた奥尻町の再建を図ることができたのも、ひとえに国、道等関係者のご理解とご助言、ならびに全国津々浦々の皆様からの物心両面にわたるご厚情の賜物と厚く感謝申し上げる次第であります。

本書は、北海道南西沖地震による被害状況と、蘇った奥尻島の姿を紹介し、復興状況視察等にご訪問いただいた皆様方への参考資料として、その概要を簡素にまとめております。

北海道南西沖地震という未曾有の大災害を経験した私たち奥尻町民にとって、震災に強い新しいまちづくりをなしとげたことは、多くの尊い犠牲者の方々に対する最大の鎮魂であり、多大なご支援を戴いた全国の皆様への唯一のご報恩であると考えております。

“蘇った夢の島・奥尻”は、将来テーマを「心かよいあう幸の島：みんなのおくしり」と定め、今後とも奥尻全町民が一丸となって日々邁進する覚悟でおりますので、今後とも皆様のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

